

免許状教科	中学校 1 種（社会）・高等学校 1 種（地理歴史・公民・商業）		
科目名	教 職 実 践 演 習 (中・高)	科目分類	教職科目
			経済学部
英文表記	Practical Seminar for Teaching Profession	開講年次	□ 1 年 □ 2 年 □ 3 年 ■ 4 年
		開講期間	□前期 ■後期 □通年 □集中
ふりがな	いちはら みつまさ	修得単位	2 単位
担当者名	市 原 光 匡	実施方法	■対面のみ □遠隔のみ □対面・遠隔併用
授業のテーマ	教育実習の経験をもとに、教育指導や生徒指導・諸問題への対応などの実践力を磨く。		
到達目標	以下の三点を設定する。 1. 教員に求められる役割や使命について深く理解し、説明できること。 2. 生徒や諸問題により効果的に対応できる能力を身につけ、実践できること。 3. 学習指導案のブラッシュアップを図り、改善された学習指導案を作成できること。		
授業概要	これまでに主として授業を通して獲得してきた教科や教職に関する知識・技術と教育実習などによって得られた経験との融合をはかり、教員に求められる資質・能力を確かなものにするを目指す。具体的には、教員に求められる役割や使命、問題への対応や生徒の理解、学習指導案の作成と模擬授業の実施など、ディスカッションやグループ・ワークなどの参加型の授業を予定している。		
授業計画			
第 1 回	ガイダンス		
第 2 回	今後教員に求められる資質・能力		
第 3 回	保護者の理解と対応		
第 4 回	諸問題への対応 (1) 学級崩壊		
第 5 回	諸問題への対応 (2) いじめ		
第 6 回	諸問題への対応 (3) 不登校		
第 7 回	進路指導のあり方		
第 8 回	学習指導の理論と方法		
第 9 回	指導案のふりかえりと改善策の検討		
第 10 回	模擬授業 (1) 中学校社会		
第 11 回	模擬授業 (2) 高等学校地理歴史		
第 12 回	模擬授業 (3) 高等学校公民		
第 13 回	模擬授業 (4) 高等学校商業		
第 14 回	模擬授業の検討会		
第 15 回	まとめ		
第 16 回	定期試験		
授業時間外の 学習	授業にあたって、これまで履修してきた教職課程の授業や教育実習の体験をふりかえり、整理しておくこと (1.5 時間程度)。また授業後、学校をめぐるさまざまな問題について整理し、自らの考えをもつようにすること (1.5 時間程度)。		
履修条件 受講のルール	教育実習を終えた学生を対象とする。		
テキスト	テキストは特に指定しない。なお、授業のレジュメ (要約) のファイルをポータルサイトにアップロードするので、事前にダウンロードしておくこと。		
参考文献・資料	授業中に適宜指示する。		
成績評価の方法	平常点 30%、模擬授業 40%、定期試験 30%で評価する。 ※出席回数が規定に満たなかった場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は試験を受けることができません。		

オフィスアワー	火曜日 10:40～12:10・木曜日 14:40～16:10
成績評価の基準	秀(100～90 点)、優(89～80 点)、良(79～70 点)、可(69～60 点)、不可(59 点以下)
学生への メッセージ	参加を前提とした授業である。積極的な参加を期待する。